



資格スクエア
shikaku square



司法試験 予備試験

資格試験のオンライン学習サービス

2023 - 2024年合格目標

合格最短ルートを進む逆算思考の合格術
法律学習に最適化したデジタル学習環境
受講生満足度約 98%! 圧倒的サポートの基礎講義
『継続』を支える学習サポート

「なりたい」で終わらせない
ゼロから始める司法試験





「なりたい」で終わらせない コンセプトに込めた思い

「法曹三者になりたい」
それは簡単な道のりではありません。

予備試験ルートの場合は、その対策として1年～2年もの間、
辛く強度の高い学習を継続していかなければなりません。
そしてその先に待ち構えるのは、全体での合格率約4%という、高い高い壁。

その現実と向き合ったとき、多くの方が「私には無理かもしれない」と途中で夢をあきらめてしまうのです。
予備試験の検討を始めた時から試験当日まで、その瞬間は無数にやってきます。

そんな道を明るく照らしたい。
困難な道のりながら、その隣で共に歩みを進め、時に辛さを分かち合い、
時に壁を突破するための手助けをする、そんな存在になりたい。

資格スクエア8期予備試験講座のコンセプトには、そんな思いが込められています。

ただ合格への道のりを示すのではなく、受講者が抱える困難や気持ちに向き合い、一緒に立ち向かいながら、
受講者それぞれが、思い描く「未来」を開拓していく最高のパートナーになる。

そのために、私たち自身も挑戦を続けてまいります。

受講生が実感3つの満足



資格スクエアの予備試験講座は、業界初の画期的な学習法です。
合格者・受講生の声を数百名分集め、精緻に分析することで、「受験生」「合格者」「試験」という3つの視点それぞれから「合格に必要な能力」を抽出。カリキュラムやオンライン講座の機能に落とし込んでいます。その結果、資格スクエア講座は「カリキュラム」「オンライン機能」「講義」の3つの点で、受講生から圧倒的な支持を得ています。

CONTENTS

「なりたい」で終わらせない～コンセプトに込めた思い～ 2

資格スクエアは第3世代の学習法 4

第1章 講座のご案内 ～壁を突破せよ～ 5

資格スクエア 予備試験講座の特長 6

充実の入門講義・圧倒的分かりやすさの基礎講義 7

圧倒的コストパフォーマンスの基幹講座 8

オンラインでも迷わない。だから継続できる 9

3つの視点での逆算カリキュラムが、合格へと導く 10

カリキュラム 12

法律への扉を開く実績ある講師陣 14

継続を支える頼れるスタッフ陣 15

脳科学が学習の質を変える 16

第2章 プラン紹介 17

合格フルパッケージプラン 18

第3章 各種講座について 19

基礎講座 20

基礎問演習講座 21

論文過去問演習講座 22

その他講座 23

模試 24

第4章 豊富な教材 25

講義ノート／論文問題集 26

論証集／判例集 27

入門テキスト／短答問題集／合格読本 28

合格ロードマップ 29

ステップ学習シート 30

短答式問題集アプリ「予備試験短答問題集」 31

学習支援／合格特典 32

お申し込み方法 33

鬼頭からメッセージ 34

司法試験を目指す3つのメリット／オンライン受験相談 35

資格スクエアは第3世代の学習法

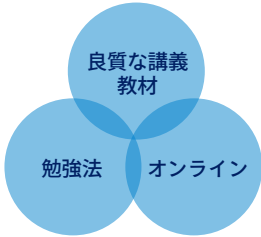
従来の予備校は、講義・教材・添削指導の提供が主で、「どのように学習するか」「いかに学習を継続するか」という自学自習の点は受講生に任されていました。しかしながら、予備試験という難関試験においては、自学自習に最も多くの時間を割くことになります。

	通学型予備校(第1世代)
勉強についての考え方	講義受講中心
思考様式	知識の積み上げ思考
進捗の確認	講義受講の有無のみ確認可能
重視するもの	インプット
学習スタイル	通学しての講義受講
合格論文が書けるか	人により異なる
費用	120～200万円

	通信・オンラインつき予備校(第2世代)
勉強についての考え方	講義受講中心
思考様式	知識の積み上げ思考
進捗の確認	講義受講の有無のみ確認可能
重視するもの	インプット
学習スタイル	オンラインで講義受講(講義中心)
合格論文が書けるか	人により異なる
費用	10～130万円

	資格スクエア(第3世代)
勉強についての考え方	自学自習中心
思考様式	合格からの逆算思考
進捗の確認	ステップ学習で常に立ち位置を把握
重視するもの	アウトプット
学習スタイル	最先端の学習システム(自学自習を最大限支援)
合格論文が書けるか	200回以上の答案添削で書けるように
費用	約60万円(製本テキストなしプランの場合)

資格スクエアは合格者・受講生の膨大なデータを基に、更には試験問題の緻密な分析を通じ「合格に求められる勉強法」を体系化。良質な講義と教材、オンラインでの学習手法と組み合わせることで、講師との相性やこれまでの学習経験、環境などに依存せず、誰もが最短で合格に必要な能力を身につけられる「第3世代の学習法」を実現させています。



第1章

講座のご案内

壁を突破せよ

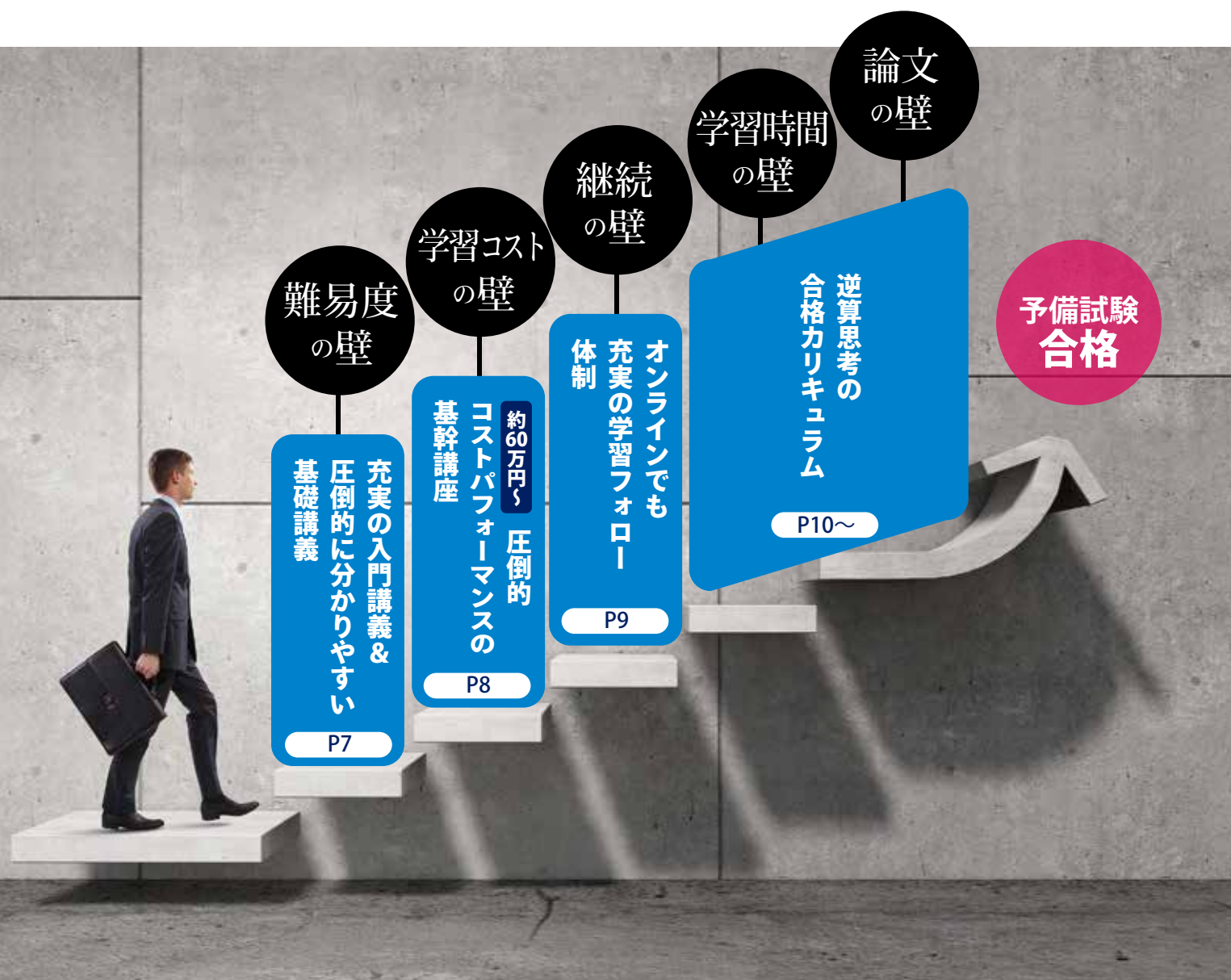
予備試験「5つの壁」を突破せよ

従来の予備試験の学習法は、一部の方のみに適したものでした。そもそも通える範囲に校舎がないと、予備校の講義を受けることさえ叶いませんでした。今でこそオンライン講義が普及しつつありますが、すべての講義がオンラインに最適化されているとは限りません。そこで展開されている講義も、担当講師が自身の学習経験に基づいて行っています。使用される教材も講師の慣れ親しんだものであり、法律学習初心者に適した講義・教材であると言えます。しかも、予備校で指導を受けるには、

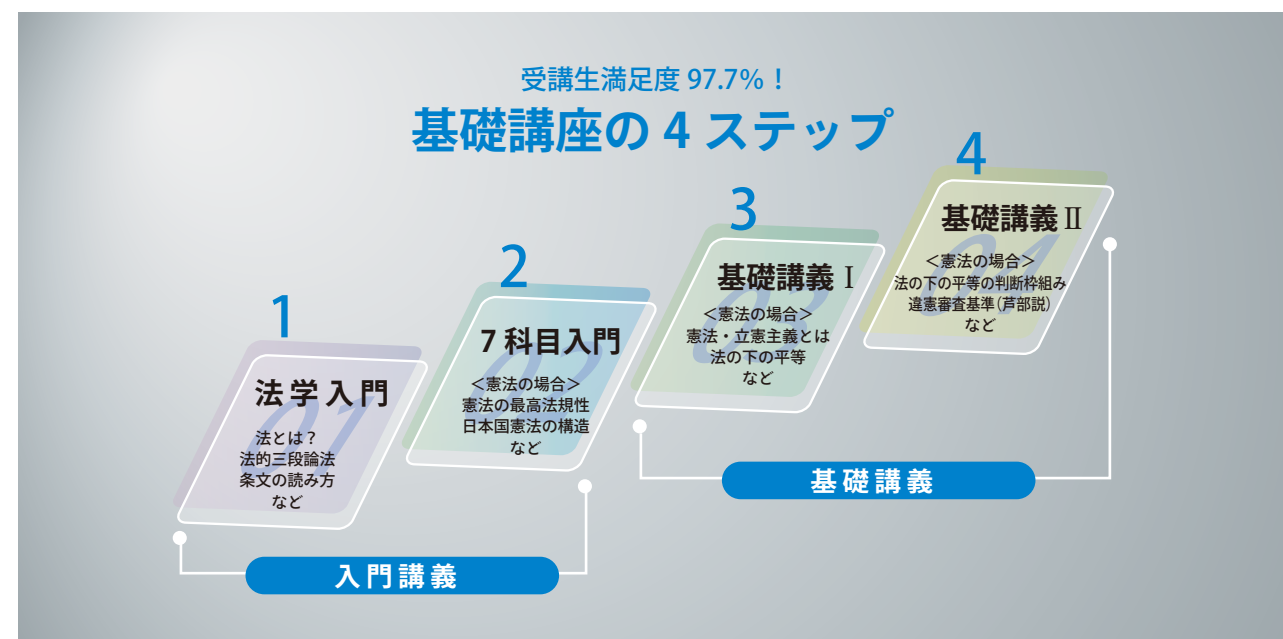
100万円近い費用がかかることが一般的です。

資格スクエアでは、予備試験合格までに誰もが直面する難しさを「壁」と定義し、それぞれに対して明確な突破法を用意しています。だからこそ、一人ひとりの状況や学習経験などに関わらず、誰もが等しく予備試験合格に向け進んでいけるのです。

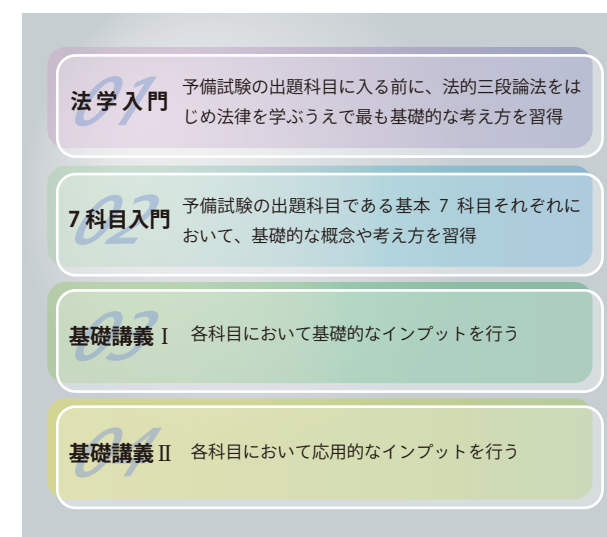
予備試験「5つの壁」



予備試験「難易度の壁」を突破せよ



法律学習の経験値によらず、誰もが着実に予備試験対策のインプットを行えるよう、資格スクエア予備試験講座では基礎講座を4ステップに分けて展開しています。

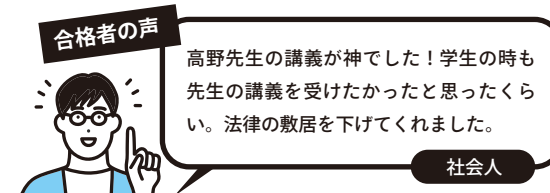


一つひとつの概念・考え方を丁寧に噛み砕き、少しずつステップアップしていくため、これまで法律学習をしたことがない方でも理解しやすく、ゆえに既修者の方も躓くことなくスムーズにインプットしていくことができます。しかも、7科目すべての基礎講義を担当するのは、予備試験業界で30年近いキャリアを持ち、分かりやすさに圧倒的な定評を持つ高野講師。着実なステップアップとベテラン講師のコラボレーションにより、資格スクエア予備試験講座の基礎講座満足度は脅威の97.7%を誇ります。

COLUMN

高野講師の基礎講座はなぜこんなにも圧倒的な支持を得るのか？

高野講師は写真学校を卒業後、企画会社ディレクター等を経て、慶應義塾大学法学部通信教育課程在学中に旧司法試験を合格した異色の経歴の持ち主。法律学習のバックボーンがない方/ブランクがある方が躓きやすいポイントを熟知しており、それを基に作られた講義は文字通り「誰にでも分かりやすい」抜群の完成度を誇ります。また、LECや伊藤塾などでの30年近いキャリアにおいて、一貫して取り組んできたのが入門講座。難解な概念を噛み砕き、分かりやすく伝えることにおいて他の追随を許さない圧倒的な経験と実績を持つのです。



予備試験「学習コストの壁」を突破せよ

ひとりでも多くの方に、本格的な予備試験対策講座を受けていただきたい。そんな思いから、8期資格スクエア予備試験講座では、合格に必要な教材が揃ったパッケージプランを税込価格で60万円台からご提供（大学生協等でのお申込みの場合）。

圧倒的なコストパフォーマンスを実感ください！

	従来の予備校	資格スクエア × EYE
価 値	カリキュラムに基づく講義	カリキュラムに基づく講義 ＋ 独自メソッドの逆算勉強法
学習スケジュールの考え方	期間 (1年合格・2年合格など)	最低学習目安時間からの逆算による 個別最適化
講義スタイル	オフライン オンライン・オフライン混合	完全オンライン
重視するもの	インプット	アウトプット
添削数	～150通程度	200通以上
付属物・特典	判例集など副教材 予備試験合格時の割引特典など	判例集など 副教材 合格ロードマップ など効率学習を支えるツール 口述模試・司法試験対策講座の無料付与 (※口述模試は論文式試験合格時特典、司法試験対策講座は予備試験最終合格時特典)
受講料	100万円前後	製本テキストあり 718,597円(税込) ▶ 682,667円(税込) 大学生協等でのお申込みで

C O L U M N

資格スクエアはなぜコストパフォーマンスにこだわるのか？

一つには、創業者であり、弁護士資格も有する鬼頭の原体験があります。大学時代、予備校に通う経済的余裕のなかった鬼頭は、司法試験を目指そうと考えた際、独学で学習することを選択せざるを得ませんでした。その経験から、「誰もが法律系難関資格に挑戦できる環境をつくる」というビジョンで生まれたのが資格スクエアです。8年目を迎えた今も、そのビジョンは講座の根幹であり続けています。資格スクエアでは本番試験の分析、講義やテキスト等の改善はもちろんのこと、オンライン学習機能を磨き、 unnecessary コストを徹底的に見直し、講座のブラッシュアップを続けています。8期目の資格スクエア予備試験講座に、どうぞご期待ください。



友人から「価格が安くていいオンラインの予備校があるよ!」というのを聞き、資格スクエアでの学習に決めました。

社会人

講義の価格も選んだ理由の一つです。

大学生



予備試験「継続の壁」を突破せよ

「オンラインでも継続できるのか?」そんなご質問をよくいただきます。確かに、単に講義と教材をオンラインで提供するだけでは継続は難しいでしょう。その点、資格スクエアはオンラインの特性 / 合格者の勉強法などを独自に研究し、「良質な講義」「オンライン」「独自の逆算勉強法」からなる体系的な学習システムを提供しています。

そこで欠かせないのが、「合格ロードマップ」「ステップ学習シート」「合格読本」からなる三種の神器です。これらが講義やテキスト、オンライン機能などの要素を有機的に繋ぎ合わせることで、体系的な学習システムが完成します。使いこなすことで、「1年合格 / 2年合格」といった大雑把な期間に制約されるのではなく、ご自身の学習可能時間から逆算された、ご自身だけに最適化されたカリキュラムでの継続学習が可能になるのです。まさにオフライン以上です。

オンライン学習を支える「三種の神器」

合格ロードマップ

合格までのスケジュールを概観

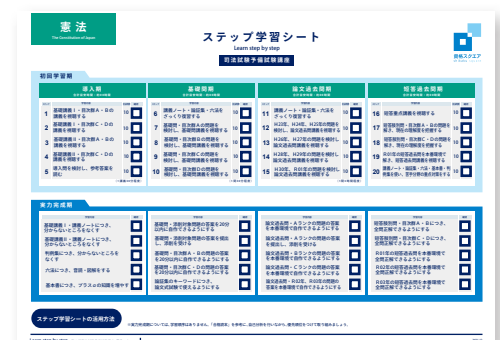
どの科目から勉強すべきか、1つの科目を徹底的にやりこむべきか等、予備試験は学習上の不安が絶えません。合格ロードマップでは、予備試験対策において最も効率の良い学習の手順を概観。これに沿って学習計画を立てることで、長丁場の予備試験対策における「現在地」「残り距離」「どの科目から勉強すべきか」など重要なポイントを外すことなく、ご自身の合格の最短コースを走ることが出来ます。



ステップ学習シート

20段階で現在地と「今やるべきこと」を可視化

7科目それぞれに1枚付属し、自身の習熟度合いを20段階で可視化。どの講義を、どの教材を使って学習すればよいか、どのくらいの時間をかけて学習すればよいかなど、「今やるべきこと」をタスクベースで記載しています。合格ロードマップと組み合わせることで、学習スケジュール全体のアウトライン～具体的な TODO までを一貫して把握できるため、日々の勉強に迷うことなく、誰もが合格者の勉強方法を再現することが出来ます。



合格読本

教材の使い方を指南する、合格のバイブル

合格ロードマップとステップ学習シートが、理想的な学習を定量的に可視化・サポートするものだとなると、合格読本は日々の学習で求められる習熟度合い・ニュアンスといった「定性的」なものを明らかにします。例えば「基礎講義を聞いた後、どの程度の理解度なら次のステップに進んでいいのか?」など。学習を進めるべきか、戻って理解度を上げるべきか迷ったときは、合格読本に立ち返ることで迷うことなく学習を進めることが可能です。



※画像はイメージです。

予備試験「学習時間 / 論文の壁」を突破せよ①

資格スクエアでは、合格に求められる能力を徹底的に科学し、講師との相性やこれまでの学習経験などによらず、誰もが等しく学習効果を得られるカリキュラムを作り上げています。その成果が、「受験生」「合格者」「試験」の3つの視点からの逆算によって生まれた新しい手法、資格スクエアの逆算カリキュラムです。

今までの学習方法

指導講師に依存している

従来の予備校のカリキュラムは、担当講師の学習方法を取り入れている場合がほとんどです。しかし、実際に講義を受講し終えてみると、担当講師と相性が合わず力がつかなかったという声も多く存在します。

勉強法を教えてくれない

予備校は、講義や教材・添削指導を提供します。ただし、それぞれのコンテンツを提供はするものの、「どのように使っていくか」についての指導はなされず、受講生まかせになっている場合がほとんどです。

効率化されていない

当該試験に合格するために、「いつまでに何を行わなければならないか」「何を行う必要がないか」が定式化されていないので、無理な学習・無駄な勉強が頻繁に生じ、学習効率下がってしまいます。

資格スクエア独自のアプローチ

3つの逆算法

従来の学習とは異なり3つの逆算を行い

合理的に予備試験合格を目指します

受験生

受験生の皆様にアンケートを実施。受験生の方が、具体的にどのような勉強を行っていて、そのどこに問題があるかをしっかりと見つめます。

合格者

予備試験合格者にもアンケートを実施。合格者が具体的にどのような勉強を行ってきたかを可視化し、必要な勉強方法・勉強量を洗い出します。

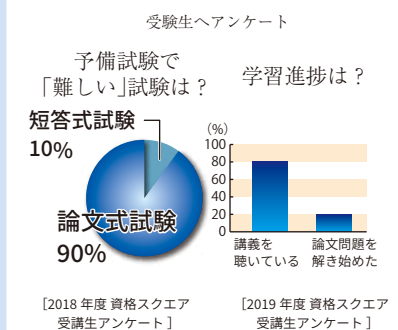
試験

予備試験の試験問題を徹底的に要素分析。合格に必要な能力は何かを定義し、それぞれの能力をつけるために必要な学習方法を確立します。

受験生からの逆算

予備試験合格のためには 論文式試験対策がポイント

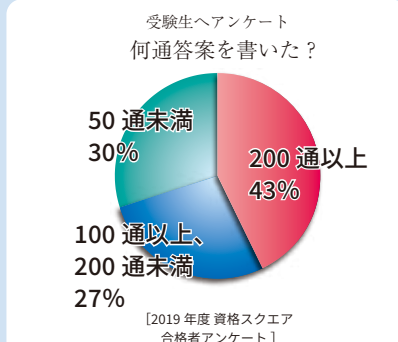
受験生へのアンケートを通じてわかってきたことは、予備試験の勉強で最も苦労しているのが、論文式試験だということです。しかしながら、約8割の受験生が、講義を聴くことに終始してしまっており、実際に書くという学習を行っていないのです。



合格者からの逆算

合格者の約半数が200通以上の答案を書いている

実際に合格者の方にヒアリングを行うと約半数の方が200通以上の答案を書いています。答案を多く書くことにより「書き方」を覚えていっていることが見て取れます。また、合格者であっても「なぜ書けるようになったか」がわからない人も多くいます。



試験からの逆算



予備試験の試験問題を分析・整理。予備試験合格のためには、問題分析能力・答案構成能力・答案作成能力の3つの能力が必要といえます。それぞれに必要な能力を養うために必要な講義・教材・添削指導を行う必要があります。

合格者の声

予備校によっては上位合格答案を目指す志向の場合もありますが、合格するという目標に対して私にはオーバースペックに感じました。資格スクエアは合格を目指すというカリキュラムで、志向に合っていました。

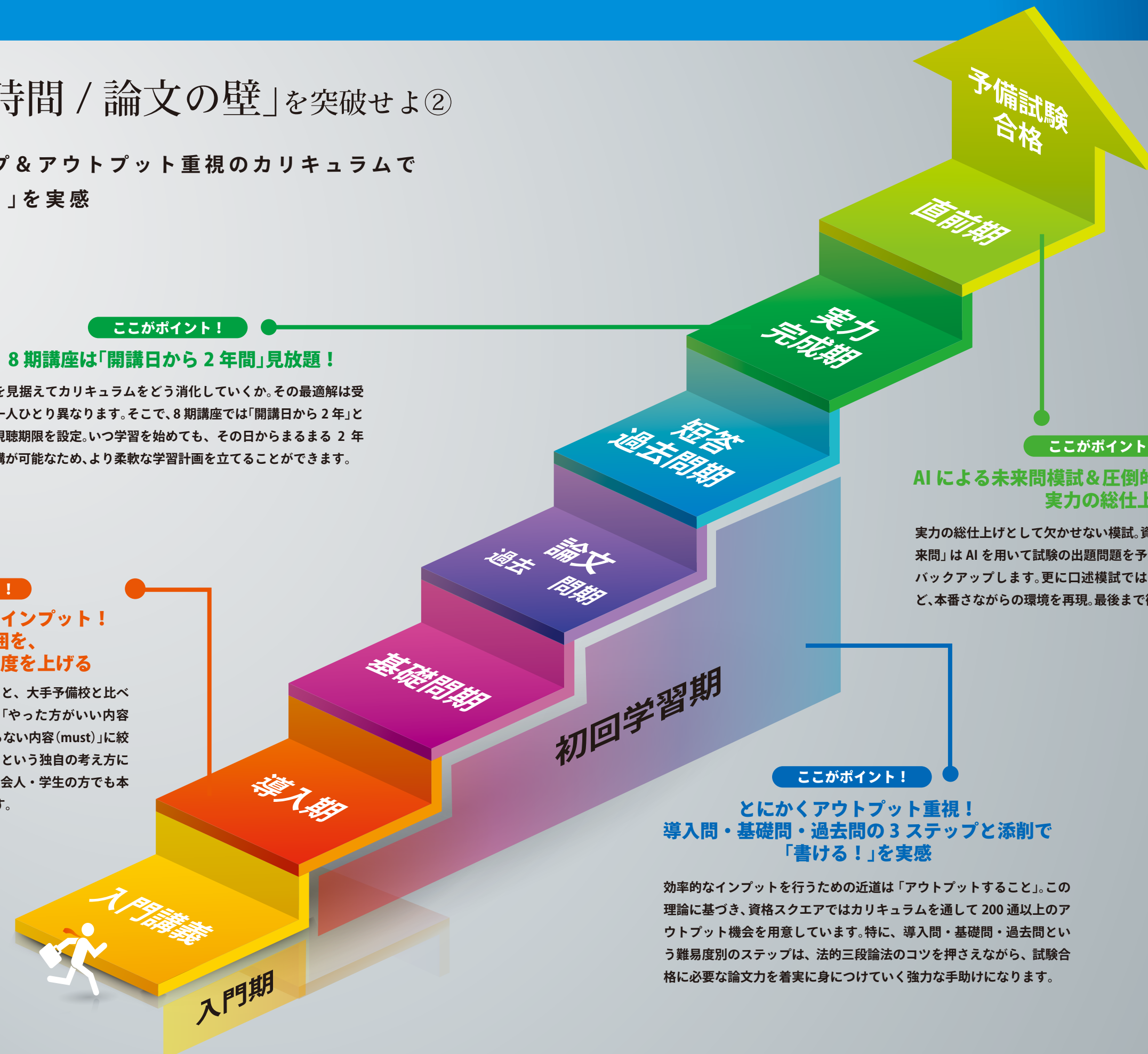
社会人

学習方針が自分の志向と合っていると感じました。例えば、「アウトプットしながらインプットの不足を補う」「長く時間をかければ合格率が上がるわけじゃない」など。この方針のもとで戦ったら自分には有利なんじゃないか、と思えました。

大学生

予備試験「学習時間 / 論文の壁」を突破せよ②

着実なステップアップ & アウトプット重視のカリキュラムで
「分かる!」「書ける!」を実感



ここがポイント!

8期講座は「開講日から2年間」見放題!

合格を見据えてカリキュラムをどう消化していくか。その最適解は受講生一人ひとり異なります。そこで、8期講座では「開講日から2年」という視聴期限を設定。いつ学習を始めても、その日からまるまる2年間受講が可能のため、より柔軟な学習計画を立てることができます。

ここがポイント!

徹底的に絞り込まれたインプット! 厳選された範囲を、 とにかく回して習熟度を上げる

資格スクエアの基礎講義は約330時間と、大手予備校と比べ短めです。これは、合格から逆算して「やった方がいい内容(better)」を減らし、「やらなくてはならない内容(must)」に絞り込んで徹底的に習熟度を上げていく、という独自の考え方に基いています。だからこそ、忙しい社会人・学生の方でも本業と両立しながら合格を目指せるのです。

ここがポイント!

AIによる未来問模試 & 圧倒的評価の口述模試で 実力の総仕上げ

実力の総仕上げとして欠かせない模試。資格スクエアの短答模試「未来問」はAIを用いて試験の出題問題を予測。最初の関門・短答合格をバックアップします。更に口述模試では試験官の人数や時間設定など、本番さながらの環境を再現。最後まで徹底的にサポートします。

ここがポイント!

とにかくアウトプット重視! 導入問・基礎問・過去問の3ステップと添削で 「書ける!」を実感

効率的なインプットを行うための近道は「アウトプットすること」。この理論に基づき、資格スクエアではカリキュラムを通して200通以上のアウトプット機会を用意しています。特に、導入問・基礎問・過去問という難易度別のステップは、法的三段論法のコツを押さえながら、試験合格に必要な論文力を着実に身につけていく強力な手助けになります。

法律家になる夢を実現させる

高野 泰衡 先生

担当講義 基礎講義 論文過去問講義 他

司法試験合格。決して簡単なことではありません。合格までに時間がかかることもあるでしょう。しかし、法律家になるという夢があるのなら、そこを越えていかなければなりません。多くの先輩方もそこを乗り越えて行きました。予備試験そして司法試験は、難しい試験ですが、その勉強法を間違わずに努力を積み重ねることで合格にたどり着くことができます。私たちは、合格をつかみ取るために必要な法律知識や、問題を解き合格答案を作成するための技術を、確固とした方法論、カリキュラムをもって提供いたします。法律家になる夢を実現する！厳しい挑戦です。勇気あるチャレンジをお待ちしております。

PROFILE

LEC 東京リーガルマインドと伊藤塾で約 20 年間、専任講師として受験指導の最前線に立ち、多くの合格者を輩出。資格スクエアでは、予備試験対策の根幹となる「基礎講義」のほか、論文過去問講義など重要部分の担当講師を務める。難解な法律用語をかみくだき、図や表を駆使した分かりやすい講義で、受講生から圧倒的な支持を得る。

宮武 広 先生

担当講義 基礎問講義 論文過去問講義 他

世の中は様々な事件であふれています。人が複数人存在するところには、まず争いがあり、それに対処するためにルールがあります。なぜそのようなルールが決められたのかという根源に迫りながら、客観的に、論理的に、そして公平に判断するのが法曹の任務です。理不尽なこと、不合理なことに悩んでいる人の助けになることができるのも法曹の魅力の 1 つです。学歴を問わず、法曹になれるのが予備試験ルートであり、誰もが経験したことのある理不尽・不合理に立ち向かう力を、このルートを通じて得てみてはどうでしょうか。

PROFILE

高校在学中、旧司法試験第一次試験合格。早稲田大学法学部に進学し、在学中、モスクワ国立大学に 1 年間交換留学。帰国・卒業後、東京大学法科大学院を修了し、新司法試験合格(選択科目：国際私法)。ロシア語能力検定 1 級。司法修習生時代に家庭裁判所を見学し、家族法の世界に魅せられる。好きな言葉は「Век живи, век учись(百年生きるなら、百年勉強しなさい)」。

下地 謙史 先生

担当講義 基礎問講義 論文過去問講義 他

予備試験は一般的には合格率が低く、合格が難しいと言われていますが、自分にあった適切な勉強方法を見つければ、必ず合格できる試験です。受験を検討されている方の中には、様々な立場の方がいらっしゃると思いますが、どの立場の方でも合格のチャンスがあります。私は予備試験の最終合格者ですが、受験時代には何回も予備試験に落ち、大変でやめようと思ったことがありました。しかし、その時に試行錯誤した苦労の経験は今も生きています。最初の一歩を踏み出すか迷われている方もいらっしゃると思いますが、是非勇気を持って最初の一歩を踏み出していただき、合格を勝ち取ってください！

PROFILE

慶應義塾大学法学部法律学科入学後、大学 3 年次に慶應義塾大学法科大学院に飛び級入学し、同法科大学院卒業。同大学院在学中に予備試験合格。司法修習を経て、大手事務所で勤務。その後独立し、現在に至る。

千葉 貴 先生

担当講義 基礎問講義 論文過去問講義 他

予備試験に合格することで、法科大学院を修了せずとも司法試験を受験することができますので、費用や時間の面でメリットがあります。また、予備試験合格が就職活動において有利に働く場合もあります。このように、予備試験は法曹を志す者にとって、魅力的な制度だと思います。一方で、予備試験は決して簡単な試験ではありません。勉強の過程で辛く大変な思いをすることもあろうかと思います。そういった点を踏まえてもなお、予備試験を受験し法曹を目指したいと思われる方は是非チャレンジしていただき、合格を勝ち取っていただきたいと思っております。

PROFILE

早稲田大学法学部卒業、早稲田大学大学院法務研究科修了、司法試験合格(選択科目：租税法)、元弁護士。大学に上位合格し、第 2 次試験免除。大学院も上位合格し、半期分の学費相当の奨学金を給付される。大学在学中に旧司法試験第 2 次試験短答式試験に合格。弁護士登録時には民事・刑事事件に取り組み、国選弁護研修個別指導弁護士を担当。



予備試験講座サービス開発部代表
フォローアップ担当

小野 大輝 弁護士

予備試験に合格するためには、いろいろな壁を越えていかなければなりません。1 人では解決できない悩みが出てきたり、1 人では越えられないと思うような壁が立ちはだかることもあるでしょう。そんなとき、私たちは、ともに合格を目指す「パートナー」として、皆さんの悩みに寄り添い、立ちはだかる壁をともに越えていきたいと考えています。

私自身、「ともに壁を越える合格パートナー」として、全力でサポートさせていただきたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小野弁護士が明かす予備試験講座 5 つの開発指針

資格スクエアの予備試験講座では、日々の学習をより有効に、より円滑に実施できるよう、講座の開発指針として「5 つの価値」を置いています。

統計分析 に基づく学習

何千件もの学習相談データ等を活用して、受験生の躓きポイントや傾向などを統計的に分析。学習カリキュラムやシステムに反映することで、初学者の方はもちろんより多くの方が着実に、日々の学習を進め成長を実感できるよう努めています。

脳科学 に基づく学習

東京大学教授の池谷裕二先生の監修・指導のもと、脳科学的な根拠に基づく学習機能やカリキュラム設計を行っています。経験則や自己流の学習方法に頼らず、誰もが脳科学的に効率の良い学習方法を実践できるよう日々研究を重ねています。

テクノロジー に基づく学習

少し前までは、講義は教室で決まった時間に受けるのが当たり前でしたが、現在はオンラインで「いつでも、どこでも、何度でも」講義を聞けるのが当たり前になっています。テクノロジーの良さを最大限引き出せるよう、機能開発を続けています。

人のサポート に基づく学習

テクノロジーによる学習の合理化を進める一方、人の成長のためにはやはり「人のサポート」が欠かせません。合格への道を示す先生、日々の指導を行うコーチ、切磋琢磨し合う仲間など。そういった人の側面を重視し、開発や業務改善を行っています。

楽しむこと に基づく学習

資格スクエアでは学習を「楽しむこと」を重視しています。それが合格への近道であることが脳科学的にも明らかだからです。1 年～数年に及ぶ学習時間を「つまらない」ではなく「楽しい、そんな時間にできるよう心がけています。

添削・質問回答担当 合格者スタッフから応援メッセージ

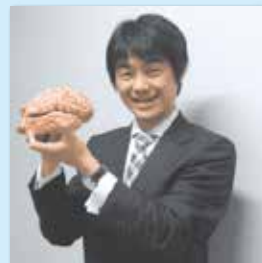
ご存じの通り、予備試験・司法試験は大変難しい試験です。しかし、正しい勉強法でしっかりと努力をすれば、本当の意味で「誰でも」合格を目指せる試験でもあります。学習を進めていく中で、壁にぶつかることが幾度となくあると思いますが、そこで法曹を目指した初心にかえり、あきらめずに頑張れるか否か。それが合格への秘訣でもあります。一緒に頑張っていきましょう。

正しい勉強法については悩む必要はありません。逆算思考に基づいた資格スクエアのカリキュラムに沿って学習を進めていけば、自然と合格に近づいていくはずですよ。私達スタッフも、日々受講生に寄り添い、より良いサービスを提供するために試行錯誤しています。資格スクエアを使って、一緒に高い壁を越えましょう。全力でサポートさせていただきます。

脳科学ラーニング

脳科学に基づいた問題演習機能

資格スクエアが独自に提供している問題演習機能（脳科学ラーニング）は東京大学教授であり脳科学研究者である池谷裕二氏監修のもと開発を進めた人工知能サポートシステム。記憶力に自信のない方でも、着実な記憶定着へ導く仕組みになっており、オンライン上に蓄積されているあなたの学習履歴・理解を分析し、個人に合わせた問題提示が可能です。



アドバイザー 池谷 裕二
東京大学薬学部 教授

神経科学および薬理学を専門に、脳と記憶に関わる研究を行う。1998 年東京大学・大学院薬学系研究科にて薬学博士号取得。2002 年米・コロンビア大学・生物科学講座・客員研究員。2014 年現職。

特許情報

特許番号：特許第 5994117 号
発明の名称：E ラーニングシステム

特許権者：株式会社サイトビジット
発明者：鬼頭政人

特許取得

E ラーニングシステム
特許第 5994117 号

倍速機能



オンライン講義は、21 段階の倍速機能搭載。インプットは短く、アウトプットにしっかりと時間をかけるのが難関資格合格へのポイント。倍速機能を使ってどんどん講義を聴き進めて、知識をインプットしていきましょう。

ワンクリック質問機能



面倒な入力なしに疑問点がすぐに質問可能。講義中画面からワンクリックで質問ができます。質問回数は無制限で、回答も 5 営業日前後とスピーディなので、わからない場所もすぐに解決。

条文リンク機能



オンラインレジュメの条文部分をクリックするだけで、該当条文が表示されます。前後の条文もスクロールして見られるので、体系的理解も促せます。これからは重い六法を持ち歩く必要はありません。

単語帳



レジュメの該当部分をマークするだけで簡単に単語帳を作成。覚えておきたい箇所をすぐにまとめることができます。

第 2 章

プラン紹介

予備試験合格に必要な全てが揃ったオールインワンプラン！
予備試験合格のために必要な講義・教材・添削・答練がセットになったプラン。
資格スクエアの合格メソッドをフル活用して予備試験合格を目指せます。

資格スクエア × EYE 第8期予備試験講座 合格フルパッケージ			
講座	基礎講座		○
	基礎問演習講座		○
	論文過去問演習講座		○
	短答対策講座		○
	法律実務基礎講座		○
	選択科目対策講座		○
	未来問模試(短答)		○
教材	講義ノート		○
	論文問題集		○
	短答問題集		○
	予備試験入門テキスト		○
	論証集・判例集		○
	基本書		○
	短答アプリ		○
	論文問題用紙		○
答練・添削	導入問(自己採点)		○
	基礎問添削		○
	論文過去問添削		○
学習支援ツール	合格ロードマップ		○
	ステップ学習シート		○
	合格読本		○
フォローアップ(学習支援)		合格コンサルタントが電話で学習支援(月1回/15分)	
視聴期限		開講日から2年間	
合格後サポート		●論文式試験合格時 口述模試が無料 ●予備試験最終合格時 司法試験対策講座が無料	
受講料 (大学生協等でのお申込みの場合)		製本テキストあり 大学生協等でのお申込みで 718,597円(税込) ▶ 682,667円(税込)	
お支払い方法		大学生協等の代理店またはEYE校舎でお申込みいただけます。 詳しくは、パンフレットの33ページをご覧ください。	

第3章

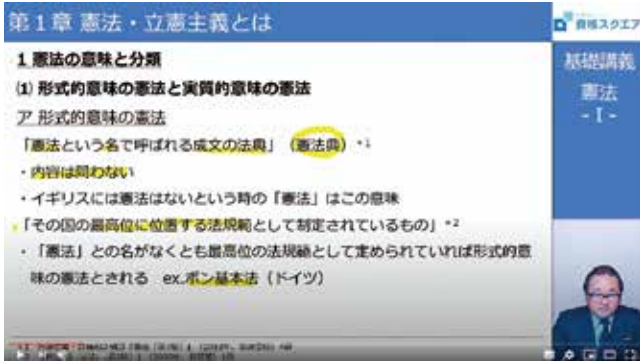
各種講座について

合格に必要な知識を習得
法的思考能力の基礎を身に付ける

対応試験

短答式試験 論文式試験 口述試験

基礎講座では、司法試験、予備試験の合格に必要な知識を習得していきます。予備試験・司法試験の対策において、知識があれば良いというものではありませんので、それを使い問題を解くための法的思考能力の基礎を同時に身につけます。知識のインプットとしては、基礎講義で合格に必要な知識の全体の約 8 割を習得します。残りの 2 割は短答対策用の細かい知識や、論文問題を解きながら応用的な問題にふれることで習得していきます。



基礎講座人気にはワケがある

- 図解が豊富で、説明がわかりやすい
- 基礎講義ⅠⅡとの分離により、応用的な事項が後にくるから、初学者に優しい
- 講義のスライドが動画内にあり、動画をみただけでも理解が進む
- 講義スライドと紙のテキストが一致していて学習しやすい
- オンラインレジュメで自分の学習メモを残せるから、復習がしやすい

基礎講座

入門講義

法学入門
憲法入門
民法入門
刑法入門
商法入門
民事訴訟法入門
刑事訴訟法入門
行政法入門

基礎講義ⅠⅡ

憲法
民法
刑法
商法
民事訴訟法
刑事訴訟法
行政法

担当講師

高野泰衡講師

講義時間

1 コマあたり 20~40 分
※講義テーマによって講義時間は異なります

使用教材

入門テキスト
講義ノート
論証集

受講のポイント

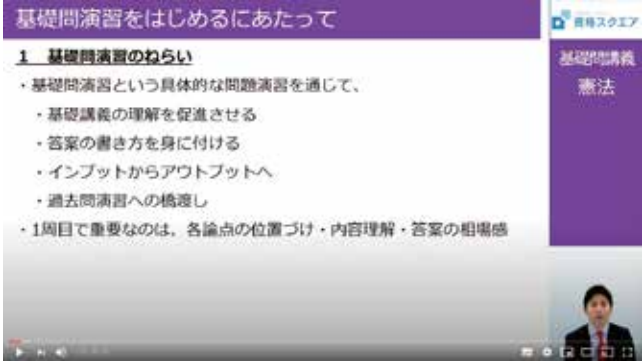
法律は、全体像がわかると細部が理解できるようになるという特性があります。そのためには、まず、全体像を理解してしまうことが大切ですので、基礎講義はなるべく早く視聴することを意識しましょう。もちろん、これは雑に聴き進めて良いというわけではありません。講義を受講していると、どうしても把握しにくい範囲がでてきます。先の勉強をするところで理解が進む範囲もありますので、多少わからない範囲があってもこだわらずに先にすすみ、なるべく早く演習にはいりましょう。

答案を書く力を養成し
論文答案が書ける土台を身につける

対応試験

短答式試験 論文式試験 口述試験

基礎問演習講座は、簡単な事例問題を用いて、基礎知識を定着させるとともに、答案を書く力を養成し、論文答案が書ける土台を身につける講座です。これまで基礎講座で習得してきた知識の、どの部分をどのような形でアウトプットすれば点数に結び付けることができるのか、単体の論点にしぼった形の問題に数多く取り組み、アウトプットをしていきます。答案の型を身につけ、最大の山場である過去問対策への肩慣らしをしていきましょう。



基礎問演習講座人気にはワケがある

「基礎問」は予備試験・司法試験・旧司法試験における出題統計から、重要と考えられる論点につき、単一論点ごとに学習できるようにした事例問題です。論文過去問との関係では、過去問の答案のパーツ部分を切り抜いて、簡易な問題としてできるようにしたものというイメージです。約 350 題程あるたくさんの基礎問を用いて、重要論点について論文の書き方の基礎をマスターしていきましょう。必要な論点知識を広くカバーしていますので、本番の試験で「書ける」力を養うことができます。

基礎問演習講座

基礎問講義

憲法
民法
刑法
商法
民事訴訟法
刑事訴訟法
行政法

担当講師

宮武広講師
下地謙史講師
千葉貴講師

講義時間

1 コマあたり 5~20 分
※講義テーマによって講義時間は異なります

使用教材

論文問題集
講義ノート
論証集

基礎問添削

105 問を添削

受講のポイント

基礎問は、試験直前期までには、何度も演習を繰り返し、基礎問で扱われる論証を何も見ない状態で、試験本番に出力できる状態にすることが、到達目標となります。もっとも、基礎問期の段階で、そのレベルまで理解を高めることは困難ですし、論文過去問を一通り学習することによって、基礎問をより一層深く理解できるという関係でもあります。一通り、基礎講義を聞き終えたら、基礎問演習・基礎問添削※にうつりましょう。なお、実務基礎科目、選択科目については、基礎問期はありませんので、導入期が終わり次第、論文過去問期に入ります。
※論文基礎問添削：添削対象の基礎問全 105 問につき答案を提出し、合格者から添削を受けるというサポートシステムです。

予備試験の天王山・論文式試験を徹底攻略

対応試験 **論文式試験**

予備試験の過去問を用い合格答案を「書ける」ようになるための講座です。基礎問が、答案を構成する論点に関する「論証」と「あてはめ」を学ぶものであったのに対し、論文過去問では、それらの複数の論点を、法律上の原則・例外論、要件・効果論をベースに適切な論理的構造の中に位置づけ、答案の内容を構成することを学習していきます。まさに、答案を構成する能力を養う学習過程といえます。予備試験全問題について、問題分析・答案構成・答案作成の3つのパートから解説を行います。



論文過去問演習講座
人気にはワケがある

従来の予備校は「授業を聞いていれば書ける」「そのうち書けるようになる」として、論文の対策として、きめ細かく受験生に寄り添うものを提供できておらず、答案の書き方のコツをつかむ能力が高い人が合格答案を書ける、いわば個人のセンスに依存してしまう傾向にありました。資格スクエアでは、それに真っ向から立ち向かい「初学者でも論文が書けるようになる」ことを目標に、論文の合格答案を書くのに必要な能力を分析し、必要な思考プロセスを可視化、どのような能力があれば論文が書けるようになるかを研究しました。その結果、論文を書くためには「問題分析能力・答案構成能力・答案作成能力」の3つが必要であることがわかりました。

論文過去問演習講座

論文過去問講義

憲法
民法
刑法
商法
民事訴訟法
刑事訴訟法
行政法

担当講師

高野泰衡講師 他

講義時間

1コマあたり 40~70分
※講義テーマによって講義時間は異なります

使用教材

講義ノート
論証集

論文過去問添削 計 100 回

全 10 科目・5 年度分について各 2 回添削指導
(基本 7 科目 / 実務基礎科目 / 選択科目)

受講のポイント

資格スクエアの参考答案は、論理の飛躍を減らし、受講生の理解を促進するために、50 点中 40 点を獲得できる程度の答案を作成しています。しかし、試験本番では、およそ 25 点とれば、合格答案と言われています。自分なりの完成された答案を作成する際には、制限時間内に 25 点はとれると考えられる答案を目指して、作成する訓練をしましょう。

※論文過去問添削：全 10 科目・5 年度分について 2 回答案を提出し、合格者から添削を受けるというサポートシステムです。

短答重点講義／短答過去問講義

短答プロパー知識を徹底マスター

対応試験 **短答式試験**

短答式試験で狙われやすい知識を短時間で効率よくマスターしましょう。短答プロパーの知識を重点的に解説する「短答重点講義」と、過去問演習を伴う「短答過去問講義」の二つを用意しています。

短答重点講義 /
短答過去問講義

(全 7 科目)

憲法
民法
刑法
商法
民事訴訟法
刑事訴訟法
行政法

講義時間

約 50 時間
※講義時間数は変更になる場合もあります

使用教材

判例集
基本書
短答問題集

講師

高野泰衡講師 他

選択科目対策講座

必要な知識を最短距離で習得する

対応試験 **論文式試験**

2022 年から論文式試験に新たな科目「選択科目」が導入されます。ただ、法律 7 科目＋実務基礎科目の学習で手一杯になり、なかなか選択科目の対策まで手が回らない方も多く考えられます。そこで、本講座では、論文を形にするために必要最低限の知識をぎゅっと濃縮して講義を設計。短い時間であっても効率的に対策することができます。

開講予定科目

労働法
倒産法
租税法
経済法
国際私法

※開講科目は変更になる可能性があります

講師

資格スクエア専任講師

講義時間

基礎知識編 :20 時間～40 時間
過去問編 :10 時間

※講義時間は科目によって異なります。また、講義時間は変更になる可能性があります

使用教材

オリジナルレジュメ
基本書

法律実務基礎講座

実務基礎を集中講義で効率よく

対応試験 **論文式試験**

実務基礎科目は、大きく 2 つの分類、民事実務と刑事実務に関する問題にわかれます。民事実務基礎では、主に要件事実論、民事保全・民事執行、民事裁判手続が問われ、刑事実務基礎では、主に刑事裁判手続、事実認定が問われます(このほか、法曹倫理についても問われることがあります)。試験範囲は広範であり、効率のよい勉強が不可欠です。予備試験の過去問についても演習していきますので、短期間で実務基礎科目の対策をしたい受験生の方にとって最適の講座となっています。

基礎講義

民事実務基礎
刑事実務基礎

使用教材

講義ノート
論文問題集

論文過去問講義

民事実務基礎
刑事実務基礎

講師

宮武広講師
千葉貴講師

口述対策講座

口述試験で問われる知識を総ざらい

対応試験 **口述試験**

論文式試験の結果発表後、限られた時間の中で口述試験特有の知識を身に付けられるよう設計している講座です。口述試験で、特に聞かれる民事執行・保全の知識を中心に、必要な知識を高速インプット。インプットした後は、例題を用いてどのように答えていくかを解説しています。また、講義の中では、予備試験口述試験の概要・当日の流れを詳細に説明しているため、本番をより具体的にイメージすることが可能です。当日無駄な緊張をすることがなくなるため、論文式試験までの間で培った力を思う存分発揮できる環境の整えられる講義となっています。

概要

全 2 科目
民事実務基礎
刑事実務基礎

講義時間

約 3 時間
※講義時間数は変更になる場合もあります

講師

資格スクエア専任講師

未来問模試(短答)

AI が予測した短答式問題で
試験前の最終確認

対応試験 短答式試験

「未来問」とは、資格スクエアが開発した AI（人工知能）が資格試験の問題を予測する日本初の模試です。

過去に出された本試験の問題、資格スクエアの予備試験講座テキスト、資格スクエア論証集のデータ等を教師データとし、文章分類エンジンによってカテゴリーに分類（カテゴリー数は科目によって変動します）。その後、毎年度の出題傾向を学習した出題傾向予測エンジンを用いて出題問題を予測します。

本試験前に、自身の対策が追い付いていないところを確認できるため、試験までの間に、どの分野を優先して勉強していくべきなのか指針を立てるのにもお役立ていただけます。また、模試は WEB 会議システムを用いて実施するものの、試験官もいるため、本番さながらの模擬試験を自宅で受験することができます。

概要 (全 7 科目)

当該年度の試験問題
(AI による予測問題)

提供方法

オンライン

受験料

無料
※受験にはお申し込みが必要です

時間数

【民法・商法・民事訴訟法】
試験時刻 9:45-11:15 (1 時間 30 分)
【憲法・行政法】
試験時刻 12:00-13:00 (1 時間)
【刑法・刑事訴訟法】
試験時刻 14:15-15:15 (1 時間)

※2021 年に実施したときのタイムスケジュールです。今後変更される可能性があります

口述模試

合格率 90%超※だからこそ
慎重な対策が必要

対応試験 口述試験

合格率 90% を超える口述試験。裏を返すと、毎年一定数の方が惜しいところで残念な結果となってしまいます。

確実に合格するためには、「本番を意識した練習」と「残りの期間での適切な微修正」が不可欠。資格スクエアの口述模擬試験は、本番の試験と同様に、主査・副査の 2 名体制で実施するうえに試験時間も本番に近い長さで設定しています。模試の後にはフィードバックの時間もたっぷりと確保していますので、単なる力試しでは終わらず、試験までの残された時間の中で、何をすべきなのかを明らかにすることができます。

あなたの予備試験合格を最後まで全力でサポートします。

※法務省発表の司法試験予備試験口述試験結果より

受験料

資格スクエア受講生で論文合格者は無料

※ 受験にはお申し込みが必要です。資格スクエアの論文合格者を優先してご案内しますが、受験時には限りがありますので、満席の場合には受験ができない可能性があります。あらかじめご了承ください

場所

WEB

時間数

民事実務
(約 15 ～ 30 分)
刑事実務
(約 15 ～ 30 分)

講師

予備試験合格者 他

第 4 章

豊富な教材

講義ノート

法律 7 科目等の理解を助ける 講義ノート

短答式試験 論文式試験 口述試験

法律 7 科目をはじめ、全ての試験科目の理解を助ける講義ノート。ふんだんな図や表を用いて、難解な法律の概念も、ビジュアル面からも理解を支え、これから勉強をスタートされる方にも最適の教材となっています。予備試験や司法試験では判例や通説の考え方を理解するのが非常に重要なので、判例通説の記載を充実させる一方、学説については思い切って割愛しています。コンパクトな記述で、そのまま答案にも利用できる記載が満載です。

10 科目 11 冊

憲法／民法Ⅰ／民法Ⅱ／刑法／商法／民事訴訟法／刑事訴訟法／
行政法／選択科目／民事実務基礎／刑事実務基礎



※画像はイメージです

論文問題集

ステップアップ方式で 初学者でも合格レベルまで到達できる

論文式試験

導入問・基礎問編と過去問編の 2 章構成となっており、問題・答案例を掲載しています。簡単な問題から、実際に出題されるレベルの問題までステップアップ形式で進めることができるので、法律初学者から無理なく合格水準の答案が書けるレベルにまで引き上げます。

10 科目 10 冊

憲法／民法／刑法／商法／民事訴訟法／刑事訴訟法／行政法／選
択科目／民事実務基礎／刑事実務基礎



※画像はイメージです

論証集

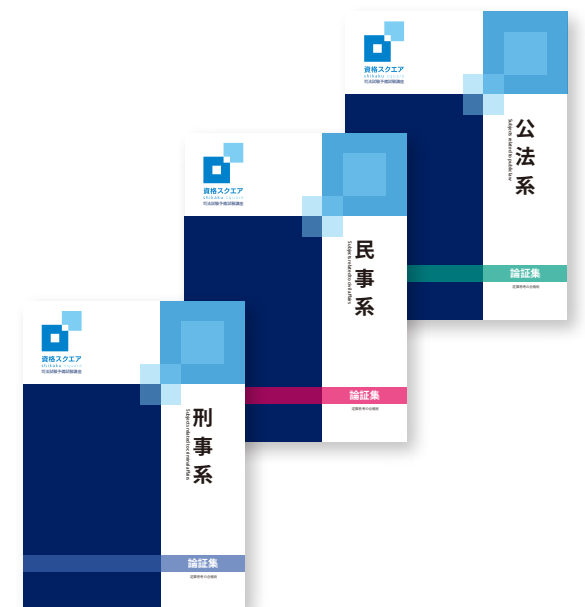
論証をエッセンスで覚える 答案にすぐに役立つオリジナル論証集

論文式試験 口述試験

予備試験の学習においては、法律上の論点について書き方の例をまとめたもの、即ち論証を覚えていく必要があります。市販の論証集は長いものが多く、なかなかすぐに使えるものになっていないのが現実です。そこで資格スクエアでは、答案にそのまま使えるというコンセプトで論証集を作成しました。最低限ここだけは覚えておくべき、という内容を絞り込んで掲載しています。キーワードは太字で強調していますので、まずはキーワードを覚えるようにしましょう。論証は丸暗記ではなくエッセンスから覚えるのが早期合格のコツです。市販のものとは一味違う論証集をぜひ手に取ってみてください。

3 冊

公法系／民事系／刑事系



※画像はイメージです

判例集

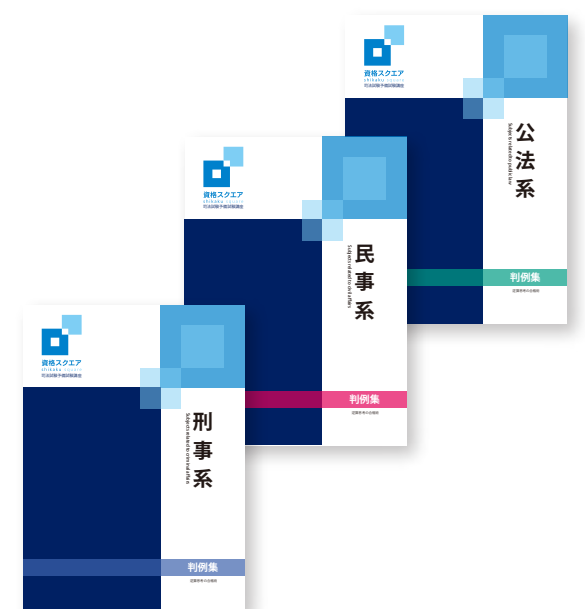
重要判例を抜粋して掲載 まずはキーワードを暗記

論文式試験 口述試験

判例集は、論文で使う重要判例について、原文を抜粋したものです。強調されたキーワードを暗記ができるとよいですが、完全な暗記については、直前期までにできれば構いません。とても重要で、将来、暗記する必要があるものだという気持ちで眺めることから始めます。

3 冊

公法系／民事系／刑事系

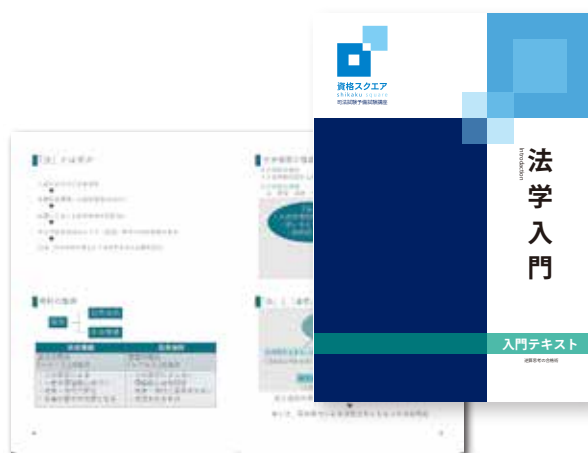


※画像はイメージです

予備試験入門テキスト

法律初学者の方にも丁寧に解説 法律入門書の決定版

法律を初めて学ぶ方に最適の教材です。「法とは何か」という点から、条文の読み方、さらには各科目の特徴を丁寧に解説。法律の勉強において非常に大切になる「全体像を掴む」のに最適な教材となっています。予備試験入門テキストを使い、法律の全体像を掴むとともに、学習の型を固めていってください。



※画像はイメージです

短答問題集

予備試験過去問から重要な問題を厳選 効率よく短答式試験の突破を目指す

短答式試験

各科目において主要となる問題を取り扱った問題集です。短答対策講座において、絶対に解いておかねばならない問題を徹底演習。繰り返し解くことで知識の定着が図られます。こちらは、100%解答できるようになるまで、徹底的にやりこみましょう。

3冊

公法系／民事系／刑事系



※画像はイメージです

合格読本

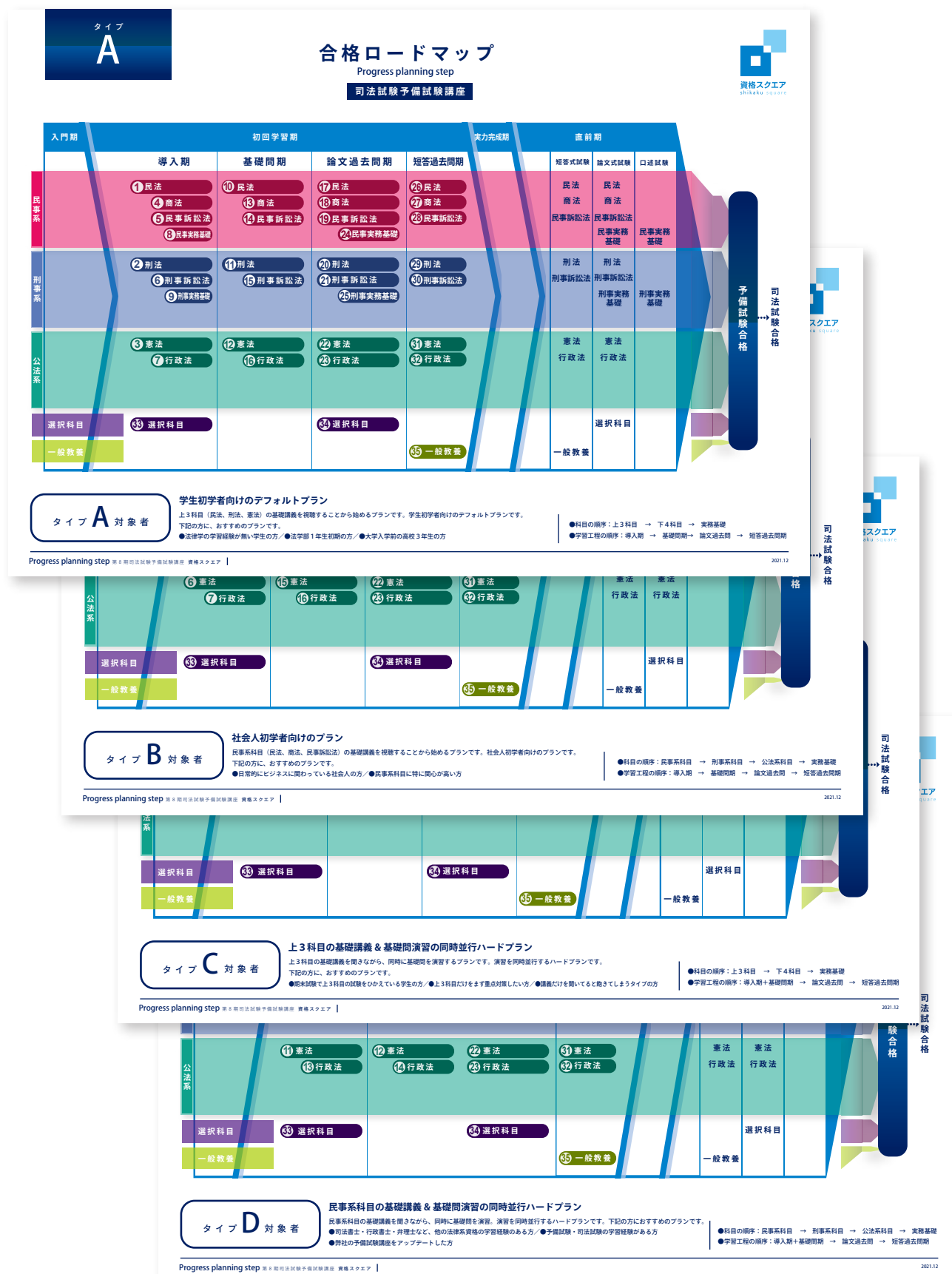
「合格読本」で講義・教材の使い方を理解

具体的にどのように学習を進めていけばよいかが記載されています。「講義を聴く」、「テキストを読む」という指示にとどまらず、例えば「判例の名前が言われたら判例が示した内容が概ね分かる」などのように、何に注目して学習を進めればよいか、学習の目標到達点は何かを明確に示します。学習方法を間違わないようにするためのバイブルです。



※画像はイメージです

予備試験・司法試験の合格に向け、どの科目をどの順序で学習すればよいかをマップ形式で解説。



どの教材を使いどの学習にどの位の時間を掛ければよいかを、具体的に法律基本7科目について、ステップに分けて確認できます。

憲法

ステップ学習シート

Learn step by step

司法試験予備試験講座

初回学習期

導入期	基礎期	論文過去問期	短答過去問期
1 基礎講義Ⅰ・目次群A・Bの講義を視聴する 2 基礎講義Ⅰ・目次群C・Dの講義を視聴する 3 基礎講義Ⅱ・目次群A・Bの講義を視聴する 4 基礎講義Ⅱ・目次群C・Dの講義を視聴する 5 導入問を検討し、参考答案を読む	6 講義ノート・論証集・六法をざっくり復習する 7 基礎問・目次群Aの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 8 基礎問・目次群Bの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 9 基礎問・目次群Cの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 10 基礎問・目次群Dの問題を検討し、基礎問講義を視聴する	11 講義ノート・論証集・六法をざっくり復習する 12 H23年、H24年、H25年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 13 H26年、H27年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 14 H28年、H29年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 15 H30年、R01年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する	16 短答重点講義を視聴する 17 短答肢別問・目次群A・Bの問題を解き、現在の理解度を把握する 18 短答肢別問・目次群C・Dの問題を解き、現在の理解度を把握する 19 R01年の短答過去問を本番環境で解き、短答過去問講義を視聴する 20 講義ノート・論証集・六法・基本書・判例集を使い、苦手分野の重点対策をする

民法

ステップ学習シート

Learn step by step

司法試験予備試験講座

初回学習期

導入期	基礎期	論文過去問期	短答過去問期
1 基礎講義Ⅰ・目次群A・Bの講義を視聴する 2 基礎講義Ⅰ・目次群C・Dの講義を視聴する 3 基礎講義Ⅱ・目次群A・Bの講義を視聴する 4 基礎講義Ⅱ・目次群C・Dの講義を視聴する 5 導入問を検討し、参考答案を読む	6 講義ノート・論証集・六法をざっくり復習する 7 基礎問・目次群Aの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 8 基礎問・目次群Bの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 9 基礎問・目次群Cの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 10 基礎問・目次群Dの問題を検討し、基礎問講義を視聴する	11 講義ノート・論証集・六法をざっくり復習する 12 H23年、H24年、H25年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 13 H26年、H27年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 14 H28年、H29年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 15 H30年、R01年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する	16 短答重点講義を視聴する 17 短答肢別問・目次群A・Bの問題を解き、現在の理解度を把握する 18 短答肢別問・目次群C・Dの問題を解き、現在の理解度を把握する 19 R01年の短答過去問を本番環境で解き、短答過去問講義を視聴する 20 講義ノート・論証集・六法・基本書・判例集を使い、苦手分野の重点対策をする

刑法

ステップ学習シート

Learn step by step

司法試験予備試験講座

初回学習期

導入期	基礎期	論文過去問期	短答過去問期
1 基礎講義Ⅰ・目次群A・Bの講義を視聴する 2 基礎講義Ⅰ・目次群C・Dの講義を視聴する 3 基礎講義Ⅱ・目次群A・Bの講義を視聴する 4 基礎講義Ⅱ・目次群C・Dの講義を視聴する 5 導入問を検討し、参考答案を読む	6 講義ノート・論証集・六法をざっくり復習する 7 基礎問・目次群Aの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 8 基礎問・目次群Bの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 9 基礎問・目次群Cの問題を検討し、基礎問講義を視聴する 10 基礎問・目次群Dの問題を検討し、基礎問講義を視聴する	11 講義ノート・論証集・六法をざっくり復習する 12 H23年、H24年、H25年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 13 H26年、H27年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 14 H28年、H29年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する 15 H30年、R01年の問題を検討し、論文過去問講義を視聴する	16 短答重点講義を視聴する 17 短答肢別問・目次群A・Bの問題を解き、現在の理解度を把握する 18 短答肢別問・目次群C・Dの問題を解き、現在の理解度を把握する 19 R01年の短答過去問を本番環境で解き、短答過去問講義を視聴する 20 講義ノート・論証集・六法・基本書・判例集を使い、苦手分野の重点対策をする

実力完成期

基礎期	論文過去問期	短答過去問期
基礎講義Ⅰ・講義ノートにつき、分からないところをなくす 基礎講義Ⅱ・講義ノートにつき、分からないところをなくす 判例集につき、分からないところをなくす 六法につき、音読・図解をする 基本書につき、プラスαの知識を増やす	基礎問・添削対象問題の答案を20分以内に自作できるようにする 基礎問・添削対象問題の答案を提出し、添削を受ける 基礎問・目次群A・Bの問題の答案を20分以内に自作できるようにする 基礎問・目次群C・Dの問題の答案を20分以内に自作できるようにする 論証集のキーワードにつき、論文式試験で使えるようにする	論文過去問・Aランクの問題の答案を本番環境で自作できるようにする 論文過去問・Aランクの問題の答案を提出し、添削を受ける 論文過去問・Bランクの問題の答案を本番環境で自作できるようにする 論文過去問・Cランクの問題の答案を本番環境で自作できるようにする 論文過去問・R02年、R03年の問題の答案を本番環境で自作できるようにする

ステップ学習シートの活用方法

※実力完成期については、学習順序はありません。「合格請求」を参考に、自己分析を行いながら、優先順位をつけて取り組みましょう。

スマホにあなた専用の問題集が完成！

資格スクエア短答アプリ

予備試験短答問題集

司法試験予備試験の効率学習

資格スクエアによる脳科学を利用した予備試験超効率問題集アプリ

資格スクエアが開発・製作した短答試験問題集アプリ。7科目・約4000題の過去問演習をアプリで行うことが可能です。回答を「もちろん○」「たぶん○」「たぶん×」「もちろん×」の4つの選択肢から選択。2周目以降は、自分の間違えた問題・苦手な問題から優先的に出題されるので、効果的な学習が可能となる自分だけの問題集が完成します。PCに加え、スマートフォン、タブレットでも利用できるのも、スキマ時間を有効活用した短答式試験対策が可能です。

ご利用方法



- ①App StoreもしくはGoogle Playから「資格スクエア 予備試験短答式問題集」を検索
- ②アプリをダウンロードしてご利用ください

Google PlayおよびGoogle Play ロゴは、Google LLC の商標です。Apple、Apple のロゴ、iPhone、iPad は、米国もしくはその他の国や地域における Apple Inc. の商標です。App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。



特長①

実際の司法試験・予備試験の過去問に出題された問題を4つの肢から1つ選択し、回答。

もちろん○

たぶん○

たぶん×

もちろん×



特長②

あなたの理解度に合わせて復習すべき問題をアプリが自動的にピックアップします。解けば解くほどアプリがあなたの習得傾向を学習し、あなた専用の問題集になります。

スキマ時間にも有効に

いつでもどこでもスキマ時間に知識のアウトプットができるのが、アプリの強み。これからは移動時間も勉強時間にあてられます。



あなた専用のカスタマイズ

正答と誤答からあなたの学習傾向をアプリが学習し、出題問題をカスタマイズ。あなた専用の問題集をアプリとして、スマホの中に持ち歩けます。



資格スクエア × EYE の逆算合格術では、手厚い受講生サポートを提供します。
 随時合格コンサルタントやカウンセラーに相談できることに加え、EYE の自習室を無料で自由に利用できる
 ことにより、学習効率やモチベーションを高めることができます。
 また、学習進捗について定期的にメールでお知らせしますので、オンライン学習で孤独感を感じることもあり
 ません。



フォローアップ 合格コンサルタントが電話で学習支援（毎月1回/15分）

合格コンサルタントが勉強の進め方をご案内します。初學者であれば、最初に何から学習をスタートすればよいか、既習者であれば、学習進捗状況をヒアリングし、どのように進めていくかについて、それぞれ相談に応じます。また、学習を進めていく中で不安は付きものです。このペースで目標合格年度に間に合うのか、今の勉強方法を継続してよいかなど、気になること・不安なことは尽きません。経験豊富な合格コンサルタントが受験生の悩みを解決し、合格へと伴走します。



個別カウンセリング 随時、対面またはZoom/電話/メールなどで個別相談ができます

EYE のカウンセラーが、主にメンタル面のサポートを目的として、随時、無料でカウンセリングを行います。対面が困難な方には、Zoom/ 電話 / メールなどでも対応します（メール相談には概ね2日以内にご回答します）。



EYE校舎自習室利用 個別ブースで集中して学習を

最寄りの EYE 校舎の自習室が無料でご利用いただけます。直前期は朝 8 時 OPEN ! 個別ブースなので、集中して学習に取り組めます。また、EYE 校舎には、予備試験対策書籍やドリンクバーなどを配備しています（校舎によって異なります）。



学習進捗メール 学習進捗に関するメールをお送りします

視聴した講義数、演習した問題数をメールで確認できるので自分の学習状況が見える化されます。また、受講生の平均視聴コマ数、上位 10% の平均視聴コマ数も併せて送られてくるので、他の受講生の平均的な学習時間との比較も可能です。オンラインではわかりづらい「自分の立ち位置」の把握ができます。



ワンクリック質問 質問の回答は予備・司法試験の合格者が担当

質問には「合格に必要な知識」という観点から、予備試験・司法試験の合格者が回答します。予備試験は試験範囲が膨大なので、わからない箇所でも立ち止まると、インプットを終えることができなくなります。わからない箇所があっても立ち止まらず、すぐに質問し、どんどん学習を進めてください。

予備試験講座のお申込手続きは下記の 2 通りの方法からご選択いただけますので、ご状況に合わせてご選択ください。
 また、お手続きやお支払いについてご不明点がございましたら、お気軽にお問合せください。

EYE講座お手続き方法

お手続き方法はとってもカンタン

EYE各校受付でお手続きの場合

- ①下記所定金融機関に受講料をお振込みください。
- ②受講料をお振込み後、「お振込み明細」と身分証明書（運転免許証・学生証・パスポート等生年月日がわかる書類）を EYE 各校舎にご持参ください。
- ③EYE 校舎で学籍簿の記入後、校舎利用説明をさせていただき、その日から EYE のサービスがご利用いただけます。正式な受講証はお手続き後 10 日前後で発行となります。

大学生協／購買会／代理店／書店でお手続きの場合

- ①各店舗にて、専用申込み用紙を記入の上、割引受講料をお支払いください。
- ②割引受講料をお支払い後、各店舗より「申込書控」を渡されますので、身分証明書（運転免許証・学生証・パスポート等生年月日がわかる書類）と一緒に EYE 校舎にご持参ください。
- ③EYE 校舎で、学籍簿のご記入の後、校舎利用説明を受け、その日から EYE のサービスがご利用いただけます。受講証はお手続き後 10 日前後で発行となります。
※一部店舗についてはお手続き方法が異なります。事前にご連絡ください。

大学生協組合員の方は
 大学生協でお申し込み
 ください。

振込口座

【銀行振込】	三井住友銀行 神田支店 (株)グローバルアイ 普通 6 4 5 4 5 5 1
【郵便振替】	(株)グローバルアイ 1 0 1 7 0 - 1 4 4 9 9 1 2 1

注意事項

- 入学に当たっては、当校所定の誓約書への記入・同意が必要となります。また、提供いただいた個人情報については当校で受講・成績管理・情報サービスの提供などを目的として利用することに同意いただきます。
- この商品はクーリングオフの対象になりません。
- 解約の際には当社規定の計算式に従い、手数料をお支払いいただきます。期間の経過等により返金額が 0 円の場合もございます。

合格特典

【論文式試験合格時】

口述模試

合格率 90%超(※)だからこそ
 慎重な対策が必要

口述模試では、本番の試験と同様の形式で実践的な訓練を積むことができます。
 口述試験の一番の敵は緊張。
 ぜひ、模擬試験を通じて、本番で発揮できる力を付けていってください。
 的確なフィードバックと、細かな受験生データにも定評があります。

時間数	場所
民事実務 (約 15 ～ 30 分)	WEB
刑事実務 (約 15 ～ 30 分)	講師
	予備試験合格者 他

【予備試験最終合格時】

司法試験対策講座

予備試験合格者向けに
 司法試験の過去問を徹底解説

予備試験と司法試験の違いを中心に、司法試験の過去問を徹底解説します。
 期間の限られた中で司法試験の問題に慣れていく必要がある予備試験合格者のための特別の講義です。

内容
法律基本 7 科目

※法務省発表の司法試験予備試験口述試験結果より

過去と他人は変えられない 未来と自分は変えられる

本当に受からないのか？

予備試験や司法試験は、間違いなく難しい試験です。
「自分では受からないかもしれない」「今は忙しいから始める余裕がない」と
思ってしまうのも無理はありません。
でも、本当にそうでしょうか。

「過去と他人は変えられない、未来と自分は変えられる」

私はいつもそう考えています。
人間は、日々、選択をする生き物であり、その積み重ねとして今があります。
今やる選択をすることが、未来の自分をつくるのではないか、そう考えてみましょう。
今の選択が合格という未来につながっていきます。

合格のその先へ

司法試験は、やり方さえ間違えなければ合格できる試験です。
正しく勉強を積み上げていくことで、司法試験合格、更にその先の法曹としてのキャリアが開かれていきます。
資格スクエアは、あなたの合格に全力で伴走します。
私たちと一緒に輝かしい未来をつかみ取りましょう！

“自分はできる”と言い続けよう。
いずれそれが現実になってくるから。

資格スクエア創業者
鬼頭政人

法曹三者になれるだけではない

司法試験を目指す3つのメリット

①弁理士、税理士、行政書士、社会保険労務士 などにもなることができる

司法試験に合格し司法修習を修了すると、法的には「弁護士になる資格を有する者」となりますが、そうすると弁理士、税理士、行政書士、社労士などにもなることができます。

②他の資格試験で優遇される

司法試験に合格すると、以下の試験で試験免除を受けることができます。

公認会計士試験：短答式試験の全免除 / 論文式試験「企業法」「民法」の免除

中小企業診断士試験：第一次試験「経営法務」の免除

不動産鑑定士試験：論文式試験「民法」の免除

③国家公務員試験で優遇される

国家公務員になる試験区分のひとつに「国家公務員採用総合職試験（院卒者試験）法務区分」という、司法試験合格者が受験するのに有利なルートがあります。この区分の採用倍率は大卒程度試験（教養区分）と比べて10倍以上低く（令和元年度）、司法試験合格を目指すことは官僚を目指すうえでも有効であるといえます。

経験豊富な専門スタッフが1対1で試験の疑問を解決

オンライン受験相談



「予備試験に関する疑問や不安を払しょくしたい」「具体的な勉強方法や講座の選び方などを知りたい」そのようなときは、ぜひオンライン受験相談をご活用ください。経験豊富な予備試験専門スタッフが1対1で、じっくりと疑問を解決いたします。オンライン開催・毎日8日程で実施しており、もちろん現在もご予約受付中！予備試験にチャレンジしようか迷ったら、まずはオンライン受験相談にお越しください。



最寄りのEYE校舎を試験勉強にご利用ください！ また、ご不明な点があれば、お気軽にお問合せください。

EYE 東京本校 (水道橋)



〒101-0064
東京都千代田区神田猿楽町2-7-6
TK猿楽町ビル

Tel.03-5282-3171

受付時間 AM10:00～PM9:00
(土曜日は変更あり) 日・祝日は休館日となります。

オシャレな受付と受講生スペース、相談しやすい個別コーナーを完備。先生と気軽に相談しながら学習を進めることができます。また、社会人・既卒の受講生が多いことも特徴です。ぜひ、個別相談にお越しください。



EYE 池袋本校



〒171-0022
東京都豊島区南池袋2-32-13
タクトビル5F (受付)

Tel.03-5992-8535

受付時間 AM10:00～PM9:00
(土曜日は変更あり) 日・祝日は休館日となります。

アットホームな雰囲気と面倒見を重視した校舎作りで多くの受講生から愛されるEYE池袋本校。クチコミによる紹介入学者が多く、受講生の半数が女性です。一度来校すればその魅力がわかります。ぜひ、個別相談にお越しください。



EYE 渋谷本校



〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-10-15
JPLビル3F (受付)

Tel.03-5962-7056

受付時間 AM10:00～PM9:00
(土曜日は変更あり) 日・祝日は休館日となります。

青山通りに面した、まるでカフェのようなオシャレな2フロアの学習空間。個別ブースにはノートパソコンを全席配備し、ドリンクバーも完備。行くだけでモチベーションが上がる、新しいタイプのEYE校舎です。ぜひ、個別相談にお越しください。

